

『表象のトランス・ジェンダー—越境する性』京都橘大学女性歴史文化研究所叢書



編著：安達太郎・野村幸一郎・林久美子

出版：新典社

2013年3月12日発行 B6版 1,600円（税別）

目次（タイトルと執筆者）

第Ⅰ部 越境する性—日本の文化表象とトランス・ジェンダー

- 現代小説のなかのトランス・ジェンダー—松浦理英子の作品を中心に—
（辻本千鶴・文学部助教）
- 夢野久作・湊谷夢吉とアナスタシア伝説（細川涼一・本学学長・文学部教授）
- 「国体」の起源—坂口安吾『道鏡』の女帝論（野村幸一郎・文学部教授）
- 「奇激な婦人」の末路—山田美妙『いちご姫』における男装をめぐる—（安達太郎・文学部教授）
- 『日本武尊吾妻鑑』と『南総里見八犬伝』のトランス・ジェンダー—
—記紀神話から近世文学へ—（林久美子・文学部教授）

第Ⅱ部 異文化理解としてのトランス・ジェンダー

- （中国）男女のイメージとそのゆらぎ（蒲豊彦・文学部教授）
- （西欧）全能性を求めて—性と想像力／創造力（浅井雅志・人間発達学部教授）